

令和2年度・新入生の皆様へ

2020年4月10日

常磐会短期大学・建学の精神について

学長 農野寛治

建学の精神

「和平・知天・創造」

常磐会短期大学は、1905（明治28）年に大阪府尋常師範学校女子部と大阪府女子師範学校の同窓生268人で結成された「常磐会」が母体となり、1927（昭和2）年に、当時では少なかった幼稚園、常磐会幼稚園を創設し、1953（昭和28）年に、常磐会幼稚園教員養成所を開設したことに始まる歴史ある学園です。

本学の玄関には、「和平・知天・創造」という額が掲げてあります。これは常磐会短期大学の初代学長 西脇りか先生 がお示し頂いた、本学の建学精神であり常磐会の精神とされたものです。

「和平」とは、力をあわせて調和をはかり、礼儀を守り、譲り合って平和な時代を創るということです。今、世界に目を向けると、いつ何時、私たちの「平和」が揺らぎかねない状況にもあります。「平和」を築くための基盤は、対話と信頼関係に基づく人間関係にあると考えます。次の時代を担う子どもたちの保育に使命をもって望む皆さんには、ぜひこれから始まる学園生活の中で「挨拶」に始まる人間関係の基礎を創り上げ、人からの信頼を培う基本的な姿勢を身につけ、それを子どもたちに身を以て示して欲しいと願います。

「知天」とは、天から与えられた使命を知り、その天命を尽くすということです。皆さんに与えられた天命は、「保育・幼児教育についての確かな知識と技能を身につけ、子どもたちの育成に尽くす」ということにあります。いつの時代も、どのような社会であっても、子どもは大人が用意してくれる環境の中で健気に生きています。そのような子どもをしっかりと護る専門職になるために使命感を持って学んでください。

最後に「創造」について、今後この社会は、人工知能が進歩し、AIが人間の知能を超える時代がやってくると囁かれています。しかし、そこでも私たち人間の最も尊い力は「創造力」であるとされています。今、この子どもたちのために、何をしなければならないかを考えて、その取り組みを創造していく力は、今後も人工知能では取って代わることができないものとされています。保育を創る喜び、子どもと一緒に保育を創り出す喜びを体験できる素敵な保育者になれるように、ぜひ頑張ってください。

ここには同じ思いを描く仲間がいます。この建学の精神のもと、本学での学びや体験が、皆さんの長い人生の土台となり財産となるように一日一日を充実させ、大切な仲間を作り、一生の思い出に残る学生生活を送って欲しいと教職員一同願っています。